

和歌山大学、民間からの寄附を原資とした国際交流基金を創設

和歌山大学では、2023年4月の本山貢学長の就任以来、〈未来を切り拓く知の舞台〉としての総合大学を目指し、人材育成を第一とした「基本理念」を掲げ、国際交流の分野においてもキャンパスのグローバル化を推進しています。

海外留学で身につくものは外国語コミュニケーション能力にとどまりません。新しい環境や異なる文化への適応力、グローバル社会の一員として意識し、今後、地域社会や世界において課題解決に向けた人材として活躍することが求められています。

海外留学生を増加させるためには、学生の意識向上とともに、大学側によるさまざまな基盤整備が急務となっております。

今回創設する塚本治雄国際交流基金は、株式会社賃貸住宅センター取締役会長・塚本治雄氏から寄附を受けた5,000万円を原資に、海外にはじめて留学する学生へのファーストステップ支援や、世界各国から和歌山大学に留学する外国人学生への生活支援など、幅広い支援を計画しております。また、基金創設を記念して、東1号館1階に日本人学生と外国人留学生の交流スペース「塚本治雄国際交流スクエア」を設置し、和歌山大学の国際交流を推進する拠点として整備します。

塚本治雄 国際交流基金

TSUKAMOTO Haruo
International Exchange Fund



主な支援内容

短期研修
対象

ファーストステップ
支援

1・2年生限定

交換留学
対象

派遣交換留学生
支援

外国人
留学生
対象

学部私費外国人留学生
支援

キャンパス
グローバル化

キャンパスグローバル化の
ための環境整備



塚本治雄国際交流スクエア

